

でも有意な変動は認められなかった。以上より、医薬品 B は、医薬品 A と有効性、安全性において大きな差がないことが推測された

⑱

高脂血症症例に対するシンバスタチン製剤(ラミアン錠 5mg)の使用経験 高齢者を中心とした臨床効果について

Author : 矢吹孝志(大志会矢吹医院)

Source : Progress in Medicine(0287-3648)25 卷 9 号 Page2407-2414(2005.09)

Abstract : 高脂血症 30 例(男 12 例・女 18 例,平均 66.7 歳)にシンバスタチン 5mg/日を投与し,臨床効果を検討した。総コレステロール(TC)および LDL-C は投与前値が各々 239.7mg/dl,156.4mg/dl であったが,投与開始 2 カ月後には 200.7mg/dl,122.4mg/dl と有意な低下を認め,6 カ月後まで持続した。HDL-C は投与前 55.6mg/dl から 2 カ月後 53.6mg/dl,4 カ月後 59.3mg/dl と増加し,6 カ月後には 60.5mg/dl と有意な増加を認めた。トリグリセリドは投与前 134.6mg/dl から 2 カ月後 143.0mg/dl,4 カ月後 106.1mg/dl,6 カ月後 106.4mg/dl となり,4 カ月以降有意な低下を認めた。65 歳未満の 12 例(男 7 例,女 5 例)と 65 歳以上の 18 例(男 5 例,女 13 例)に分け比較したが,全項目とも全期間を通じて有意差はなかった。自覚症状の発現はなく,臨床検査値では AST,ALT,γ-GTP,血清 Cr に変動傾向や異常値の発現はみられなかった。1 例でクレアチンキナーゼ異常高値を認め投与中止となったが,薬剤との因果関係は不明であった

以上